

第47回

相
模
さ
さ
ら
踊
り
大
会



日時:令和7年7月9日(水)

開場:午後1時

開演:午後1時30分

費用:入場無料

場所:藤沢市秩父宮記念体育館

メインアリーナ



出演団体(出演順)

愛甲ささら踊り盆唄保存会(厚木市)

足柄ささら踊保存会(南足柄市)

長谷ささら踊り盆唄保存会(厚木市)

【特別出演】御所見ふれあい太鼓(藤沢市)

海老名ささら踊り保存会(海老名市)

秦野ささら踊り保存会(秦野市)

綾瀬ささら踊り保存会(綾瀬市)

葛原芸能保存会(藤沢市)



主催 相模ささら踊連合会・藤沢市

後援 神奈川県教育委員会

共催 神奈川県民俗芸能保存協会

問合せ 藤沢市郷土歴史課

TEL 0466-27-0101



さ さ ら 踊 り

旧相模国内には、ピンササラと小太鼓を打ち鳴らす、盆踊り・盆唄と称する女性だけの踊りが広く分布していました。江戸時代に流行した小町踊り・七夕踊りに由来するもので、現在では「ささら踊り」「ささら盆踊り」と名付けられています。しかし、盆踊り禁止や関東大震災の影響を受けて大正時代に一度途絶えました。

昭和29年（1954）、現在の南足柄市域の婦人会有志により「足柄ささら踊」が復活し、昭和42年（1967）に県指定の文化財、昭和50年（1975）に文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択されました。

その後、県内の他の地区でも復活し保存会が結成され、昭和51年（1976）にこれら保存会（6市8団体）が集まり「相模ささら踊連合会」が結成されました。以来、「相模ささら踊り大会」が開催されるようになり、今年で47回目を迎えます。

平成20年（2008）には、「足柄ささら踊」とあわせて旧武蔵国との関わりや旧相模国地域におけるお盆の芸能の伝播の実態を探り、各地域の特色を知る上で貴重な資料であるとして、「相模のささら踊り」の名称で神奈川県が無形民俗文化財に指定されました。

歌詞は七七調を基調とする長詞型と七七七五調の短詞型があり、長詞型には中世の風流を彷彿とさせる表現がみられ、曲節の基調に一致したリズムが認められます。舞踊は揃いの浴衣に帯を締めたたすき掛けの女性だけが参加するもので、ピンササラをならし、小太鼓を打つという他の盆踊りとは異なった特徴があります。また、2本の扇を持つ扇踊り、時流の踊りを取り入れた手拭踊り、さらには浴衣の長い袂を翻す「袂踊り」や「蝶々とんぼ」・「おっちょこちょいのちょい」という明治期の少女の童技を取り入れた踊りもあります。

神奈川県教育委員会 1982 【神奈川県民俗芸能誌・民謡編】から引用・改編



会場アクセス

場所：藤沢市秩父宮記念体育館
3階メインアリーナ
(251-0026 藤沢市鵠沼東8-2)

【バス】「藤沢駅」南口～片瀬山循環～
「県合同庁舎前」下車

【徒歩】「藤沢駅」南口から徒歩10分

※駐車場の台数が少ないため、
公共交通機関をご利用ください。

